

第2章 九州と韓国の経済関係の動向

1. 韓国経済の概況

2006年における韓国の実質 GDP 成長率は5.0%と前年を上回ったが、後半に向かって成長率は鈍化し、第4四半期には4.0%の成長を記録した。

製造業と輸出が経済成長の牽引役を果たす構造は前年とかわっていないものの、不動産政策の影響により建設業が通年で低調だったことが年後半の成長率鈍化につながったものと見られる。

輸出は前年比14.4%増の3,255億ドルを記録し、4年連続して過去最高を更新するなど経済を牽引した。特に韓国の最大の輸出国である中国向け輸出は、電気機械を中心に伸び、前年比12.2%増の695億ドルと過去最高を記録した。輸入額と合わせた貿易額で見ても、2005年に引き続き、中国は韓国の最大の貿易相手国となっている。

日本との貿易は輸出入とも増加傾向にあるが、一般・産業用機械や鉄鋼の輸入額が増加したことや円安の影響などを受け、貿易収支は前年と同様254億ドルの赤字となった。(第2-2-1表)

第2-2-1表 韓国のマクロ経済動向

	単位	2003年	2004年	2005年	2006年	2006年			
						1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
実質GDP成長率	前年比(%)	3.1	4.7	4.2	5.0	6.3	5.1	4.8	4.0
名目GDP	千億ウォン	7,247	7,794	8,105	8,479	2,083	2,105	2,135	2,156
一人当たりGDP	ドル	12,710	14,153	16,309	-	-	-	-	-
民間最終消費支出(GDP ^A -S)	前年比(%)	1.2	0.3	3.6	4.2	5.4	4.0	3.9	3.6
輸出額	億ドル	1,938	2,538	2,844	3,255	739	815	827	874
	前年比(%)	19.3	31.0	12.0	14.4	10.6	16.9	16.3	13.8
輸入額	億ドル	1,788	2,245	2,612	3,094	725	767	802	799
	前年比(%)	17.6	25.5	16.4	18.4	19.7	20.4	21.1	13.0
貿易収支	億ドル	150	294	232	161	13	48	25	75
対日貿易収支	億ドル	190	244	244	254	60	65	64	64
鉱工業生産指数	前年比(%)	5.3	10.2	6.2	10.1	12.8	11.5	11.4	5.2
製造業平均稼働率	(%)	78.3	80.4	79.8	81.1	81.8	80.7	80.6	81.3
労働生産性指数	前年比(%)	8.4	15.9	19.7	-	10.7	13.9	11.9	11.3
失業率	(%)	3.6	3.7	3.7	3.5	3.9	3.4	3.3	3.3
消費者物価指数	前年比(%)	3.5	3.6	2.8	2.2	2.1	2.2	2.5	2.1
市中銀行一般貸出金利	(%)	6.24	5.90	5.59	5.99	5.81	5.90	6.13	6.11
株価指数(1980 = 100)		679.8	832.9	1,073.6	1,352.2	1,350.9	1,351.3	1,316.9	1,392.3
外貨準備高(期末)	億ドル	1,554	1,991	2,104	2,390	2,173	2,244	2,282	2,390
為替レート(1ドル)	ウォン	1,191.61	1,157.18	1,024.12	954.79	976.35	949.77	954.78	938.26
為替レート(1ウォン)	円	0.097	0.093	0.108	0.122	0.120	0.120	0.122	0.125

出所：内閣府「海外経済データ」から作成。